

新たな観光事業創出に挑戦!
DAIS プロジェクト

行政と民間が連携し、町の新たな魅力を創出する「DAIS プロジェクト ～未来へつなぐ観光事業創造プロジェクト～」が始まりました(5月～7月)。異業種混合の4チームが、町から託されたミッションに挑みます。テーマは“町の誇りとなる新たな観光資源を発掘・創造し、後世に残る魅力ある観光事業を創出せよ”です。各チームは普段見慣れた風景の中に眠る価値を探し出し、文化や自然を活かしたプランを提言します。極めて優秀な内容は、実現に向けて動き出す「リアルでガチ」な熱いプロジェクトにご注目ください。



私たちのまちをきれいに
第55回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は6月7日、塩屋海岸、黒田・新立海岸、松前港内港をはじめ町内各所で行われ、子どもから大人まで約2,600人が参加しました。

この清掃は、昭和45年から行われているもので、今年で55回目となります。みんなで協力して約4.5トンの可燃ごみと約300キロの不燃ごみを集めました。

清掃後は、参加した皆さんのすがすがしい笑顔が輝いていました。

- ④みんなでたくさん拾ったよ!
- ⑤約300人が参加した塩屋海岸



①人権啓発作文を発表した小・中学校の各代表の児童・生徒 ②「ろう者と手話」について発表した田中さん ③石村嘉成さんと作品の前で記念撮影する門屋トシ子さん(右)と門屋ヨシ子さん(左) ④参加者と一緒にライブドローイングを楽しむ ⑤ライブドローイングで完成させたライオンの版画

守ろう人権 なくそう差別
2025 明るい人権の町づくり大会

「2025 明るい人権の町づくり大会」が5月24日、文化センターで開催されました。開会行事では、人権・同和教育の推進のために尽力した愛媛県人権対策協議会松前支部役員の門屋トシ子さん・門屋ヨシ子さんが「松前町人権教育協議会表彰」を受けました。その後、町内の小・中学校の代表児童・生徒が人権啓発作文を発表しました。岡田中学校の田中咲月さんは、お姉さんが手話を学び始めたことがきっかけで手話に興味を持つようになり、「自分の名前が言えるようになった。手話はろう者を支えている。手話は特別なものではなく、正しくろう者や手話について学ぶことが必要だ」と発表しました。続いて、アーティスト石村嘉成さんとその父和徳さんが講演。2歳で発達障がいと診断されてから生活の自立を確立するまでの子育ての経験を通して、和徳さんが「療育」について講演しました。最後は、嘉成さんがライブドローイングを披露し、参加者と一緒に作品を完成させました。

熱戦を展開
松前町春季ソフトテニス大会

「松前町春季ソフトテニス大会(小・中学生の部)」は5月4日、松前中学校で行われました。結果は次の通り(敬称略)。

優勝	準優勝	3位
横田 糸唯 弓達 未結	大澤 柚穂 古野 璃奈	加藤 美月 本田 日菜 河端 紗也 土居原玲衣



叙勲で本町から2人が受章
危険業務従事者叙勲

政府が4月12日付で発表した「第44回危険業務従事者叙勲」で本町から谷博文さん、松原洋右さんが受章しました。受章者の主な経歴とコメントは次の通りです。



*瑞宝双光章【警察功労】
たに・ひろふみ
谷 博文さん
元県警部
74歳



*瑞宝双光章【消防功労】
まつばら・ようすけ
松原 洋右さん
元伊予消防等事務組合消防監
66歳

昭和56年、伊予消防組合松前消防署に配属され、37年間地域の消防活動に尽力。平成27年には伊予消防等事務組合消防監に就任し、地域住民の生命と財産を守るため、迅速で的確な指揮を執ってきました。受章に対し、「ありがたい。同期や周囲の職員に恵まれ、職務を遂行できました」と話していました。

昭和45年に愛媛県警に採用されて以降、県内各地で勤務。42年間にわたり地域の安全のために尽力しました。平成5年には天皇陛下がご臨席されたイベントの警備計画の策定に携わりました。受章に対し、「家族、職場、住民の皆様のおかげで受章できました」と話していました。

きれいな花が咲くのが楽しみ
伊予農高生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の3年生14人は5月30日、授業の一環で役場玄関前の花壇の植え替えを行いました。今回植えられたのは、300株のポーチュラカです。参加した西村彩月さんは、「植える時に気を付けるところがたくさんある。多くの人にきれいにてもらいたい」と話してくれました。



国道 56 号を安全に通行できるように
西高柳地区

西高柳地区の老人クラブを中心とした地域の人が6月7日、国道56号沿いの清掃を行いました。この取り組みは毎年6月と10月に行われ、今回は約25名が参加して歩道に伸びている草刈りをしました。会長の鳥谷忠夫さんは、「用意している60袋ほどのゴミ袋はいつもいっぱいになる」と話していました。

④清掃後のきれいになった国道
⑤草刈りだけでなく、歩道もきれいに清掃します



18 歳、選挙参加に意欲
伊予高等学校選挙啓発講座

伊予高等学校は6月12日、講師に一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表の越智大貴さん、県・町選挙管理委員会を招き、選挙啓発講座を行いました。

この講座は、18歳で成人となる高校3年生を対象に、主権者教育の一環として行われたものです。

参加した生徒たちは、社会で自分の意見が必要とされていることを学び、政治に関心を持つことや、選挙に参加することに意欲を高めていました。



郵便局で熱中症対策
クーリングシェルターに係る協定の締結式

松前町と日本郵便株式会社四国支社は6月5日、「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に係る協定」を締結しました。

この協定は、クーリングシェルターとして町内郵便局を指定し、熱中症による人の健康に係る被害発生の防止などを目的に締結されたものです。松前郵便局の田村洋介局長は「町民の皆さんの健康管理の一助になれば嬉しい」と話していました。



勤労や食の大切さを学ぶ
北伊予小学校で田植え体験

北伊予小学校の5年生は6月12日、地域の人たちの指導の下、学校近くの水田で田植えを行いました。

この田植えは、「総合的な学習の時間」の授業の一環で、児童が体験を通して勤労や食の大切さを学ぶために毎年行われているものです。5年生たちは雨が時折降る中でも、歌を歌いながら楽しそうに苗を植えていました。今後は、稲の生育を観察し、秋の収穫を目指します。



命を救うために
岡田中学校救命救急講習

岡田中学校の2年生は6月10日、消防職員指導の下、救命救急講習を行いました。

参加した生徒たちは、AEDの使い方、人工呼吸や胸骨圧迫の方法を消防職員から教わり、さまざまなシチュエーションを想定して実践しました。参加した宮崎奈穂さんは、「意外と疲れて、一人でやるのは難しかった。人を救えるなら頑張ろうと思う」と話していました。



ようい! ドン!
伊予地区特別支援学級合同運動会

6月11日に伊予地区特別支援学級合同運動会が松前公園体育館で開催され、町内小中学校の特別支援学級に通う子どもたちが参加しました。ラジオ体操でしっかり体をほぐして、かけっこや玉入れを行いました。最後の種目では校長先生とじゃんけんをして、勝ったらお菓子のご褒美をもらった子どもたち。笑顔あふれる運動会でした。



⑥スタートダッシュが大事
⑦やったあ！一等賞！

子どもも大人も元気いっぱい!
鶴吉運動会

5月11日に鶴吉運動会が北伊予小学校の体育館で開催され、赤組・白組の2チームに分かれて得点を競い合いました。親子2人3脚では、どのペアも息ぴったりに走っていました。また、子ども対大人の玉入れでは、若いパワーで子どもたちが勝利しました。勝っても負けても、みんな笑顔いっぱい元気いっぱいになりました。



⑧足並みそろえてイチニ！イチニ！
⑨落とさないように慎重に

愛媛 FC 選手とサッカーで交流
愛媛 FC 選手学校訪問

愛媛 FC の藤原悠汰選手と鶴野伶樹選手が、5月15日に岡田小学校の6年生とサッカーで交流をしました。

6年生たちは、選手の迫力あるシュートをゴール裏から見て歓声を上げたり、鬼ごっこで選手たちとの距離を縮めたりしました。その後、藤原選手と鶴野選手たちの大人チームと6年生チームで試合をし、プロスポーツ選手のスピードを体感しながら、楽しんでいました。

